

東南村山からおいしさを極める！

おいしい米づくり情報

第8号 出穂期 編

発行：令和5年7月26日

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト村山地域本部
村山総合支庁農業技術普及課

(TEL: 023-621-8295)

出穂期を迎えます！

高温注意！

水管理で品質低下を防ごう！

■ 出穂期～成熟期までの水管理

- ・出穂～開花期は**湛水状態（水深 2～5cm）**で管理しましょう。出穂前後は稲が最も水を必要とする時期です（**花水**）。
- ・穂揃期以降は、土壤に酸素と水分を供給するため、湛水期間が短い**間断かん水（2日湛水＋2～3日落水）**や**飽水管理**を行きましょう。
- ・玄米を十分充実させるため、**完全落水は出穂期後 30 日以降**としましょう。
- ・出穂は**平年並み～やや早い**と見込まれますが、今後の高温では、出穂が早まる可能性もあります。

<高温時の注意点>

- ・7月30日から**かなりの高温**になると予想されております（仙台管区气象台7月24日発表）。
- ・出穂後、高温が続くと、**白未熟粒、胴割粒が発生し品質の低下が懸念**されます。
冷たい水との入れ替えによるイネ群落内の温度の低下に努めましょう！
水の入れっぱなしはダメ！

■ 斑点米カメムシ類の防除を徹底！

- ・斑点米カメムシ類の発生が**多くな**っています。
- ・基本防除は穂揃期とその**7～10日後**です。
地域ぐるみで一斉に防除を行い、防除効果を高めましょう。
- ・出穂期前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田侵入を促します。やむを得ず草刈りをする場合は、**薬剤散布前に合わせて実施**して下さい。**お盆の草刈りはやめましょう！**



カメムシ被害ゼロ！

■ いもちに注意！ 注意報第1号が発表されています

- ・圃場を見回り、葉いもちの発生が見られる圃場では、治癒効果のある薬剤で防除しましょう。

熱中症と農作業事故に注意！ こまめな休憩と水分補給。ゆとりを持った作業を行きましょう。